

あなたの夢に一生懸命!

平素より栗林のり子の活動に対し、温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。この度、栗林のり子を育てる会の会報「東京・夢通信」を発刊する運びとなりました。感謝の思いを込めて、お届け申し上げます。

東京は夢を実現するステージ。夢を描き、夢に向かって情熱を持って頑張っている皆さまに、希望と安心を届けたい——それが私の政治信条です。

皆さまの夢の実現を応援するために、一生懸命、働いて参ります。子育てや福祉、医療、教育、環境、雇用、中小企業対策などに取り組みます。さらなるご支援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。



Noriko
Kuribayashi

実現しました!

区がシックハウス対策を強化

住宅建材や生活用品に使用されている化学物質が原因で、めまいや頭痛を引き起こすシックハウス症候群。栗林は5年前、小学校に通えない一人の少女の声を区議会に届け、初めてシックスクール対策を実現しました。

そして本年、区施設におけるシックハウス対策のガイドラインが策定されます。施設工事の際には空気環境検査を実施し、安全確認が行われることになりました。

最新の「成城ホール」誕生へ 文化芸術と防災拠点の機能



旧・砧区民ホールが、6月から「成城ホール」に生まれ変わります。普段は文化芸術の拠点として利用されますが、災害時には、ホールの椅子席が自動収納され、災害対策の指揮拠点として機能します。

3年前の区議会決算委員会で、栗林が「成城ホール」の太陽光発電、壁面緑化、シンボルツリーなど、環境都市のシンボルとなる最新施設の設置を訴え、推進してきた成果です。

桜新町の「産後ケアセンター」 母子の癒しと安らぎの育児支援

子どもに接する機会が少ないまま、初めて自分の子どもをもって子育ての難しさに直面する方が増えています。産後のお世話や子育てを家族だけで担うのは難しくなっています。栗林は、専門職によるサポートを求める声に応え、育児支援センターの開設に奔走しました。

区と武蔵野大学が協働で産後4か月未満の母子を対象とした「産後ケアセンター 桜新町」が昨年3月に開設。母と子の癒しと安らぎの育児支援施設の役割を果たしています。

PROFILE

栗林 のり子

世田谷区議会議員
公明党東京都本部女性局次長

- 昭和29年6月20日、北海道釧路市生まれ。
- 東京立正短期大学卒業後、国際交流事業に従事。
- 区議会福祉保健常任委員長、公共交通機関対策等特別委員、世田谷トラストまちづくり評議委員。
- 夫と3男の5人家族。
- モットーは「至誠天に通ず」。

栗林のり子 ホームページ

www.kurinori.net

ムービーをアップしています。ぜひご覧ください!



栗林のり子の
政策ビジョン

人と街と自然を元気に!

安心都市 東京へ

- ドクターカーの導入や地域救急センターの創設など、救急医療体制を強化します。
- 高齢者住宅や介護者の負担を軽減するケアハウス、ショートステイを増設します。
- 先端技術を活かした都市部の防災対策を実施します。
- がん予防の対策として検診受診率の向上に努めます。

人材都市 東京へ

- 都独自の中小企業向け融資制度を実現し、新たな雇用を創出します。
- 若者の就職を応援する「地域若者サポートステーション」を拡充します。
- 女性の活躍の舞台を広げるサポートプランを促進します。

環境都市 東京へ

- 都市部の緑と世田谷の街路樹で結ぶ「風の道」を創出します。
- 「太陽光発電」など自然エネルギーの利用を推進し、地球温暖化防止に努めます。
- 「自転車専用道路」の設置を推進します。



栗林のり子の原点



(財)日本オペレッタ協会理事長 芸術監督
寺崎 裕則 氏

夢つむぐ文化振興に期待

歌舞伎の演出家である私は、1975年にウィーンでオペレッタと出会い、ぜひ日本に根づかせようと決心しました。オペレッタの魅力は夢をつむぐ“元気印”の活力剤です。

不況の嵐が吹き荒れる今だからこそ、世田谷に“知的大衆娯楽”を生み出す音楽芸術ホールの整備を切望します。文化は力です。文化は心の福祉であり、精神の糧です。

どうか“心のオアシス”となる文化芸術の振興に力を尽してください!!

応援
します!

「政治家とは、人のために尽くして、尽くして、尽くし抜く人」

■北海道・釧路の大自然の中で育った私は、特に祖父母にかわいがられました。祖父は自民党の町議会議員。周りには、いつも大勢の人が集まり、選挙となればお祭り騒ぎ。ところが、祖父の事業が破綻すると、潮が引くように人が去っていきました。“結局、政治って利害でしかないの? ”。拭い難い不信感が残りました。

■東京の短大に進学。世田谷で、私の政治観を変える出会いがありました。大雨の夜、友人宅にお邪魔していた時、彼女のお父さんが、全身ずぶ濡れになって帰ってきました。「いやあ、雨の日は心配でね。近くの川を見てきたんだ」そう言いながら雨合羽を脱ぎ捨て、ランニングシャツにエプロン姿で野菜炒めを作り始めました。かつてラーメン屋を営んでいたそうです。この飾らない気さくなおじさんが、公明党の区議会議員であると知った時は衝撃でした。支持者の真心に応えようと労を惜みず働く姿を見て、“ああ、これが本当の政治なんだ”と痛感しました。

■平成15年に区議会に初当選。不安でいっぱいだった私に、政治家の心構えを教えた下さったのが、今は亡き桜井良之助前都議会議員です。

「栗ちゃん、政治家とは、人のために尽くして、尽くして、尽くし抜いて、そのことを喜びとできる人だよ」

忘れることのできない先輩の言葉を胸に刻んで、尽くし抜いて参ります。

